



<p>③ 自立して、明るく、健康に生活できる</p>	<p><b>取組3：主体的な健康づくりの推進と安心できる地域医療体制を確保する</b> 生活習慣予防、精神保健福祉対策のために、住民自らが主体的な健康づくり活動に取り組み、限られた医療資源を有効に安心して利用できるよう、病状の重症度や緊急性に応じた適正な受診をするとともに、安心して医療・介護サービスが受けられる体制を確保する。</p> <p>東播磨地域ビジョン委員会</p> <p>【Loves介護塾】 介護リーダーとなる人材の育成のための学習会や、介護疲れに悩む人たちの交流の場を設けた</p> <p>行政 地域包括ケアシステムの推進支援 東はりま発ヘルシーメニューの普及促進 若者の心と体の健康づくり 感染症対策の推進 健康兵庫21大作戦の推進</p> <p>検証(指標)</p> <p>人口10万人あたりの病床数(指標9) 医療施設調査(厚生労働省統計情報部) 【H22】1051.1 → 【H28】1068.0 → 【H29】1069.8 → 【H30】1072.9 がん検診受診率(胃がん)(指標10) 兵庫県健康福祉部疾病対策課調べ 【H22】7.9% → 【H28】6.7% → 【H29】5.9% → 【H30】5.1% 心身ともに健康であると感じる人の割合(指標11) 「兵庫のゆたかさ指標」 健康づくりに取り組んでいる人の割合(H24まで) 【H22】62.2% → 【H29】63.8% → 【H30】68.4% → 【R1】63.1% (7位) かかりつけの医者がある人の割合(指標12) 「兵庫のゆたかさ指標」 【H22】62.8% → 【H29】70.7% → 【H30】68.9% → 【R1】72.1% (5位)</p> <p>評価 ビジョン委員会は介護士のリーダーの育成を目指す取組がおこなわれ、行政は医療体制の整備や生活習慣の改善を図った。 病床数やかかりつけ医の数など、医療体制の充実が見られるが、胃がん検診受診率や健康意識は低下傾向にある。 自立した健康づくりの実践とそれに向けた意識啓発が必要</p>	
<p>④ 暮らしやすいかな候と便利さを生かして暮らす</p>	<p><b>取組4：住民主体のまちなみづくりと便利で快適な住みよい暮らしを提案する</b> まちに潤いとさわやかさをもたらす花と緑の植栽活動や、暮らしに便利な移動手段を確保し、使えるシステムを構築するなど、望ましいまちなみや便利で快適な住みよい暮らしについて、地域住民自らが考え、行動するとともに、具体的な提案をする。</p> <p>東播磨地域ビジョン委員会</p> <p>該当無し</p> <p>行政 日常生活や地域を支える社会基盤の充実「東播磨道の整備推進」 まちなみ緑化事業 自動運転の実証実験 明石公園の良好な環境保全</p> <p>検証(指標)</p> <p>コミュニティバス停留所数(指標13) 東播磨県民局加古川土木事務所調べ 【H22】357箇所 → 【H28】416箇所 → 【H29】416箇所 → 【H30】578箇所 住んでいる地域は、買い物や通院に便利だと思う人の割合(指標14) 「兵庫のゆたかさ指標」 【H22】71.3% → 【H29】68.3% → 【H30】70.2% → 【R1】60.9% (4位) 住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合(指標15) 「兵庫のゆたかさ指標」 住んでいる地域に住み続けたい人の割合(H24まで) 【H22】57.0% → 【H29】74.3% → 【H30】73.7% → 【R1】70.2% (6位)</p> <p>評価 行政は公共交通や交通網の充実を図った。 住民意識は、利便性を感じる人の割合は減少傾向にあるが、住み続けたいと思う人の割合が増加傾向にある。 高齢者等の利用者ニーズに合った交通手段による利便性の確保が課題。</p>	